

SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

〈宣言日・変更日〉 令和3年1月29日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
地域・社会と手をつなぎ、未来志向、国際基準の視野とスキルを持った青少年を育成する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
児童・生徒とともにSDGsを理解し、Think Globally, Act Locallyの視点でできるアクションを考え、行動する。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	昨年末までの取組目標	取組目標の達成状況	本年末までの取組目標
	家で眠っている食品を回収し、必要としているところへ回す。（60%以上の家庭からの協力）	賞味期限マジカPartyを実施、家で眠っている食品を安価で販売し、13,170円を売り上げ、子ども食堂へ全額寄付した。	本年度の活動はすでに終了。次年度以降の計画策定中。
	健康や福祉に関する意識付けや行動を起こすために多世代交流の継続実施。（月1回ペース）	新型コロナウイルス蔓延のため実施なし	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多世代交流は当面のところ見送る。
	全職員への意識統一を図り、すべての教育活動の目標にSDGsとのターゲットを絡める。	小学校は探究学習、中学校はSDGs委員会、高等学校はサレジオSDGs（課外活動）を中心に活動した。	3月8日～12日にサレジオSDGsウィークを実施し、すべての教員にSDGsに絡めた授業展開を図ってもらう。
	アルミ缶、プルタブ、古紙回収に加え、ペーパーレスにも一層力を入れる。（使用する紙の20%を削減）	実数は未確認だが、教員生徒ともにICT機器をひとり一台保有し、教員の配布物や授業内のプリントの多くはデジタルで行った。	継続的に資源回収や資源削減に努める。
	地域に必要とされる学校になるべく、積極的に地域社会と手を結び、行動を起こす。（月1回ペース）	草薙フューチャーセンターでは静岡市と協働し、パルクルの普及啓発活動を行い、サレジオSDGsでは子ども食堂を運営するNPO法人と連携するなど様々な活動を行った。	本年度の活動はほとんど終了。子ども食堂PR動画作成を継続し、完成させ、NPO法人に提供する。

（記載上の注意）

- 1 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 目標はなるべく定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

事業所・団体等又は関連事業者等の名称	学校法人星美学園 静岡サレジオ幼稚園・小学校・中学校・高等学校 (本社が届け出る場合はその事業所の数)		
業 種	1 1 . 教育、学習支援業		
代表者 職・氏名	職 名	理事長兼学校長	
	氏 名	末吉弘治	
所 在 地	〒424-8624 静岡市清水区中之郷3-2-1		
U R L	https://www.ssalesio.ac.jp/		
従業員（構成員）数	男性	_____人	女性 _____人
			計 <u>124</u> 人